

日米 空挺降下訓練を実施 *U.S., Japan perform bilateral jump training*

April 22, 2022

By Tech. Sgt. Gustavo Castillo
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1) 4月19日、陸上自衛隊第1空挺団との空挺降下訓練を前に、横田基地のフライトラインでC-130Jスーパーハーキュリーズの飛行前点検を行う第36空輸中隊ロードマスター教官ブライアン・ゲイツ技能軍曹。

同訓練は、米空軍と陸上自衛隊が防衛や情報交換を通じて相互運用性を高め、各部隊の相互理解、日米同盟をより強化することを目的としている。



1

(写真2) 第36空輸中隊との空挺降下訓練のため、横田基地のフライトラインで装備を着用する陸上自衛隊第1空挺団の隊員。



2

(写真3) 横田基地のフライトラインに整列する陸上自衛隊第1空挺団の隊員たち。3日間に渡る訓練で、空挺隊員計50名が降下訓練を行う予定で、計600名が参加する見込みである。



3

日米 空挺降下訓練を実施 *U.S., Japan perform bilateral jump training*

April 22, 2022

By Tech. Sgt. Gustavo Castillo
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4) 4月19日、第36空輸中隊との空挺降下訓練で、習志野演習場上空付近で、仲間の装備を確認する陸上自衛隊第1空挺団の隊員。



4

(写真5) 習志野演習場上空付近で、空挺降下の準備態勢に入る陸上自衛隊第1空挺団の隊員。



5

(写真6) 習志野演習場上空付近で、空挺降下を行う陸上自衛隊第1空挺団の隊員。



6